



満天の星

令和3年12月13日

村上市立神納小学校

学校だより 12月号



<http://kanno-e.mu>
<http://kanno-e.mu>
<http://kanno-e.mu>
<http://kanno-e.mu>

三つのとげ

12月4日から10日の人権週間に合わせ、学校では人権教育強調週間の取組を行ってきました。また、中学校区では12月1日にいじめ見逃しゼロスクールの取組を行っています。そして、12月の全校朝会では、子どもたちに次のことを話しました。

とげは、刺さると痛いですよ。実は、私たち人間も、相手を悲しませたり、人をいじめたりする三つのとげを持つことがあるという話を聞きました。今日は、その「とげ」の話をします。

一つ目は、「言葉のとげ」です。例えば、「何それ、下手だなあ。」とか、「あなたは関係ないからあっち行って！」などと言われたら、どんな気持ちになりますか。とげのある言葉は、相手を傷つけ、悲しい気持ちにさせます。

二つ目は、「目のとげ」です。誰かに「そんなことやっちゃだめだよ。」と注意されたときなど、にらみ返すことはないでしょうか。また、相手をからかいばかりにしたような目で見ることはないでしょうか。そんなふうに見られたら、けんかになるかもしれません。

三つ目は、「心のとげ」です。誰かがいいことをして先生に褒められたときなど、「ふん、私だってあれくらいできるわよ。」などと思ってしまうことはないでしょうか。素直に認められず、逆にその人を悪く言うことはないでしょうか。心がとげとげしいと、素直な気持ちになれなかったり、相手に優しくできなかったりします。

さて、みなさんは、このような三つのとげを持ったことはありませんか。たまには、普段の自分はどうかと振り返ってみてはいかがでしょうか。

ところで、私たちには、一人の人間として命が守られ、社会のルールの中で、明るく楽しく生活する権利があります。これを「人権」と言います。この人としての権利を守るため、お互いに言葉や態度で相手を悲しませたり、いじめたりしてはいけません。みなさんもそれは分かっていると思います。これから、「言葉のとげ」や「目のとげ」、「心のとげ」を持つことのないように、また、いじめが起きないように行動してほしいと思ったので、三つのとげのお話をしました。

学校は、多くの子どもたちが楽しく過ごし、ともに成長する場所です。誰もが悲しい思いをしたり、いじめを受けたりしてはいけません。私たち教職員は、自らの人権感覚を磨くとともに、子どもたちの学校生活を注意深く見守っていきたいと考えています。

(校長 小山 和浩)

清き川に清き水は流れる。

心が美しい人と付き合いだければ、

まず自分の心を磨くこと。

美輪明宏

盛り上がった星の子フェスティバル

11月25日に星の子フェスティバルが行われました。今年は多くのおうちの方から出店で遊んでいただいたおかげで、子どもたちも「おうちの人に来てくれて嬉しかった。」「〇〇さんのおうちの人から面白かったよと言ってもらえた」とうれしそうに話す姿が見られました。本当にありがとうございました。

一方で、本年度も感染禍のため、地域の皆様を招待することができませんでした。来年度こそは、さらに多くの皆さんとこの星の子フェスティバルを楽しめることを願っています。



神納小「12才の自分さがし夢さがし」(6年)



6年生は、11月30日と12月1日に地域の様々な職業の方に来ていただき、グループに分かれて話を聞きました。2日間で話をしてくれた方はなんと20名。多くの職業の方から仕事の内容や工夫などを聞くことができ、6年生にとって将来の職業を考えるととてもよい時間となりました。

「じどう車ずかん」を作ろう(1年)

1年生は「じどう車くらべ」という学習で自動車について調べるために、山木組さんが工事を行っている現場を見学してきました。会社の方の丁寧な説明に加え、いろいろな車の運転席に乗せてもらいました。

教室では学ぶことができない貴重な体験になったようです。ありがとうございました。



豆腐づくり(3年)



3年生は、12月1日と3日に牧目の東とうふ店様よりとうふづくりを教わりました。おとうふができあがる頃には、豆のよい香りがしてきました。子どもたちも大喜びです。東とうふ店様、毎年のご指導、ありがとうございます。

歯科保健指導

12月2日、3日に、村上市役所保健医療課の本間歯科衛生士様より歯科保健の指導を行っていただきました。糖分の摂りすぎに注意しなければならないことや気を付けて歯磨きをしなければならないことなど、子どもたちは様々な感想をもったようです。ご指導ありがとうございました。



池の冬囲い



12月7日に山田の和み会の方から池の冬囲いをしていただきました。今まで神納小学校(旧西神納小学校)では池の冬囲いはしていませんでしたが、昨年は池があわや凍る事態に……。そこで、旧神納小学校の冬囲い道具を運んできて、池の冬囲いをしました。和み会の皆様、ありがとうございました。

荒川頭首工に行きました♪

11月、12月に4、5年生は荒川頭首工へ校外学習に行きました。4年生は社会科の地域開拓の学習として、5年生は、学校田の水がどこから来ているのかを探るために行ってきました。同じ施設の見学ですが、学習の目的が変わると、分かったことも違ったようで、学びの多い活動になりました。



おめでとう♪

いきいきわくわく科学賞2021

中学年の部…3年 横山 陽音さん 「氷をあつさからすくえ!!」



1月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1 元日
2	3	4	5	6 始業式	7 3時間授業 給食なし	8
9	10 成人の日	11 給食開始 校内書初大会	12	13 委員会	14 発育測定	15
16	17 発育測定	18 全校テスト(国)	19 全校テスト(算)	20 6時間授業(4年以上)	21	22
23	24 ぼてとの会読み聞かせ	25	26 スキー教室	27 委員会	28 縄跳び大会	29
校内書き初め展示(11/24~12/10)						
30	31	2/1 全校朝会	2	3 新1年生学校説明会	4	

神林中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会

12月1日に平林小と神林中のみなさんといじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。いじめについての動画を視聴し、それについて、自分だったらどうするか、どう思うか、これからどうしていけばいいのかななどをクラスで話し合い、結果をMeetで報告し合いました。クラス紹介や、話し合いの結果を報告したりするのも、代表の子どもたちが行い、一人一人がいじめについて、真剣に考えることができた時間となりました。



(動画のあらすじ)

クラスにいるお調子者キャラの松尾。ある日、松尾は、テストの点数が自分より低い友達をばかにした態度をとってしまう。その態度に苛立ったクラスメイトがクラスのSNSに松尾の悪口を投稿し、その悪口が次々とクラス中に広まっていく。クラスの子どもたちは、この事態を目の前に「いじめをやめるよう書き込む」「何も書き込まない」という選択を迫られる。

【主な子どもたちの意見】

いじめをやめるよう書き込む	何も書き込まない
<ul style="list-style-type: none"> • 誰かが止めないと、悪口が広がり続けるから。 • 悪口を言われている人は傷つくから、早くやめさせないといけない。 • 松尾さんも見ている自分も嫌な気持ちになる。 • 自分もやられるかもしれないけど、こわがっていたら何も変わらないから。 	<ul style="list-style-type: none"> • 松尾さんみたいに自分も悪口を言われると、つらいから。 • やめるよう書き込んで、悪口は止まらないと思うから。 • (書き込みでなく) 他の方法で松尾さんの悪口をやめさせる。

どの学級の子どもたちも、「自分だったら」と真剣に考え、意見を伝えるとともに、学級としての選択肢を決めました。その後、クラスの選択結果と出た意見や意見交換の様子について3校の学級代表者が発表し、それぞれの考えを交流し合いました。

【交流をとおして学んだこと・考えたこと】

- ちょっとした悪口でも、どんどん広がっていくかもしれないから、いじめはこわいし、危ないし、悲しいと思った(5年)
- ずっと「いじめ」はやっていけないことだと分かっていましたが、こうやって動画をみたり、他校の人と話し合ったりして、改めてやってはいけないと実感しました。(5年)
- いじめは、被害者と加害者だけだと思っていたけど、傍観者というのもあるって、傍観者がいじめの鍵を握っていることが分かった。(6年)
- 私が傍観者の立場になったら、自分から行動できたらいいなと思いました。また、他の学校とつながってみて、色々な人からの視点で意見を聞くことができて良かったです。(6年)